

キャラクター名  
狭山 董 (サマ スミ)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	科学者
オプション	ソラリス		年齢	26歳	性別	女性
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	36 %	
出自	天涯孤独	経験	UGNへの忠誠	邂逅	いい人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	0	1			1	行動値	5
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	5
精神	2	0	1			3	戦闘移動	10
社会	6	0	0			6	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉	4	
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
酩酊する狂想の宴	交渉	6r+4		1		抗いがたき言葉+彫像の声+コメントレイト

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	
解毒剤	
応急手当キット	
購入判定<着ぐるみ>	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
風上 境	P 好奇心	N 不安		
テレーズ・ブルム	P 信頼	N 不安		
霧谷雄吾	P 連帯感	N 無関心		
二つ岩まみぞう	P 尽力	N 不安		
春日	P 感服	N 憐憫		
工藤正也	P 同情	N 嫌悪		
ゆかり	タイタス化	P		

最大財産P: 14    残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コメントレイト	3	2	メジャーリアクション			シンドローム		
効果: C値-LV								
抗いがたき言葉	4	2	メジャー	視界	単体	交渉		
効果: 命中で敵の判定ダイス-LV個								
彫像の声	2	3	メジャー	視界	単体	交渉		
効果: 行動値を- [LV×2]								
狂戦士	3	2	メジャー	視界	単体	自動	80↑	
効果: メジャーの判定C値-1ダイス+ [LV×2] 個								
女王の降臨	2	5	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: ルルP 1 P167								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

董の特徴1: 味覚がずれている    特徴2: 同僚への気遣いの仕方がおかしい  
特徴3: コップ用のピッカを所持している

彼女は物心ついたころから孤児院で暮らしていた。  
少し変わり者で友達もできず里親も現れなかったが彼女は特に気にしてなかった。  
幸か不幸かわからないが彼女は同年代より遥かに頭がよかった。  
彼女が薬品に関して興味が出始めたのは高校入学からで、大学も薬学部に進み主席で卒業。  
そのまま薬品会社の研究所で医薬品の開発に没頭していたが…  
偶然か必然か研究所の危険薬物保管室で異常が発生し研究所内に致死毒のガスが充満  
大多数の研究員やスタッフが死亡するという大事件になる。  
彼女もまたその事件の被害者であった。  
毒ガスが充満した部屋で毒により体が麻痺し緩やかな死へと向かう途中でも  
彼女の心に不思議と焦りはなかった。  
あきらめなのか、それとも自分は助かると無意識に信じていたのか…  
それは彼女自身にもわからない。  
毒は彼女の体を確実に蝕み続け体の感覚は無くなり意識が朦朧としはじめ、そして彼女の視界は暗転した…  
その時、彼女の体が…いや彼女の体の中で”何か”がざわついた…  
彼女が目覚めたのは真っ白な病室の中だった。  
彼女は混乱した自分は確かに死んだと思った、ならここは死後の世界なのか？  
いや窓から見える景色には入院中らしき人や誰かのお見舞いに来たのであろう人たち看護師や医師の姿が見えた。  
ここは確かに生者の世界だ…では、あれは夢だったのか？しかし、あの死の感覚…あれは本物だ。  
彼女が混乱していると病室をノックする音の後に扉を開ける音がした。